

みなさん、こんにちは。

記者の皆様には、お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の記者会見では、私から4つの項目について発表させていただきます。

はじめに、令和8年度の当初予算案の概要についてです。

今回の当初予算案でございますが、私が市長に就任して3回目となる予算案であり、牛久市の将来の発展に結びつく事業を中心として、市のブランド化やまちづくり、IT化、教育といった、未来志向で編成いたしました。

記者会見資料1の2ページをご覧ください。

具体的には重点的に取り組む事業として、新たな牛久市のブランドメッセージ「親子特区!!うしく」の推進をはじめ、市の第4次総合計画第2期基本計画に掲げる「7つの重点プロジェクト」に係る事業を重点事業として計上しております。

資料9ページをご覧ください。

まず、「牛久ブランディングプロジェクト」として、市民とともにつくる市制施行40周年記念事業や、テレビアニメ・ライブ! スーパースター!!とのコラボ企画を市内事業者とともに展開し、牛久市のPRと知名度向上に取り組んでまいります。

資料10ページをご覧ください。

「子育て全力応援プロジェクト」として、昨年10月から新たに掲げたブランドメッセージ「親子特区!!うしく」の取り組みを推進し、親子をまちぐるみで応援していくとともに、近年の酷暑対策として、小中学校体育館への空調を整備する基本実施設計の実施や、休日における学校部活動の地域展開を進めるなど、子育て施策を充実させてまいります。

資料11ページをご覧ください。

「ワインと食のまちづくりプロジェクト」として、牛久シャトーを文化観光公園としての価値を創出していくための牛久シャトー整備基本構想を策定し、併せて牛久シャトーにてビアフェスなどのイベントを開催し、賑わい創出を図るとともに、シン・いばらきメシ総選挙2026への参加や、うしくグルメソンの継続などにより、うしくグルメを開発、発信し、地域ブランド力の向上を図ってまいります。

資料13ページをご覧ください。

「市民の足づくりプロジェクト」として、バス路線再編に伴う利用者負担軽減のための支援措置を実施し、コミュニティバスなどの各種公共交通を運行し、市民の移動手段を確保するとともに、「スマート窓口プロジェクト」として、市役所窓口における書かない窓口支援システムの導入による待ち時間の短縮を図ります。また、14ページの、公立保育園登園システム、電子版母子健康手帳アプリの導入など、子ども関連事務のIT化に取り組み、市民の利便性の向上を図ってまいります。

「国際交流活発化プロジェクト」として、姉妹都市及び台湾、ジョージアとの交流を通し、身近な国際化を推進いたします。

資料15ページをご覧ください。

「牛久に住もう働こうプロジェクト」として、東獺穴土地地区画整理事業に続く新たな宅地開発について、東大和田地区を対象として事業成立性等を調査することに加え、空家利活用による転入促進のための補助金を創設するなど、子育て世帯をターゲットとした移住定住の促進に取り組んでまいります。

これらのほか、総合計画における7つの政策分野に掲げる事業について、引き続き小中学校の給食費無償化、未就学児の医療費無償化に取り組むとともに、総合福祉センター、下根保育園などの公共施設長寿命化の実施や、道路や公園の照明灯などのLED化によるゼロカーボンの取り組みを推進するなど、将来への投資を積極的に進めてまいります。

資料2ページにお戻りください。

次に、予算編成の考え方ですが、令和8年度予算編成にあたっては、歳出面においては、全ての事業において、事業のアップデートを図り、市民サービスの低下につながらないことを前提に、事業の選択と集中を進めました。

また、歳入においては、給与所得の増加などによる市税の増収や、各種交付金の増額等を見込むとともに、新たな財源確保策としてのネーミングライツに取り組むほか、財政調整基金等からの繰り入れなどにより、市債残高を増加させることなく、財源を確保しました。

その結果、一般会計は、前年度比1.2%増の、334億7,424万9千円となり、過去最大の予算額となっております。

特別会計につきましては、4会計合わせて総額175億822万2千円となり、前年度比4.0%、6億8,131万4千円の増となり、下水道事業会計は、前年度比5.0%、1億3,834万6千円増の28億9,620万2千円となっております。

次に、令和8年第1回牛久市議会定例会提出議案についてであります。

記者会見資料2の1ページをご覧ください。

令和8年第1回牛久市議会定例会に提出する予定の議案は、令和8年度一般会計、特別会計予算案をはじめ、条例の制定及び改正、補正予算、道路の認定及び廃止並びに人事案件など、全部で21件であります。

それでは、令和8年第1回定例会提出予定議案のうち主な議案につきましてご説明を申し上げます。

3ページをご覧ください。

議案第4号は、牛久市の文化芸術活動を市全体で発展させることを目的として、市の責務及び市民、文化芸術団体、学校等の役割を明らかにし、文化芸術事業を総合的かつ計画的に推進するため、条例の全部を改正するものであります。

5 ページをご覧ください。

議案第10号は、令和7年度牛久市一般会計補正予算（第10号）であり、既定の予算額に4億2,953万1千円を追加し、予算の総額を353億87万2千円とするもので、歳入歳出予算、継続費、繰越明許費及び地方債について補正するものです。

次に、令和8年度組織改正についてであります。組織改正の内容は3点ございます。

記者会見資料3の2ページをご覧ください。

一つ目は、宅地供給による移住定住の促進のための組織改正であり、東獺穴土地区画整理事業及び調査中のひたち野地区における新たな宅地開発を促進し、魅力ある宅地を供給することにより牛久市への移住定住を推進するため、建設部都市計画課内に「宅地開発室」を新設いたします。

3 ページをご覧ください。

二つ目は、介護予防体制充実のための組織改正であり、高齢期の介護予防と保健事業を一体的に行い、切れ目のない健康支援を提供するとともに、市民にとってより分かりやすい体制とするため、現在医療年金課に配置している、かっぱ体操の普及などの介護予防業務を保健センター内の健康づくり推進課へ移管いたします。

4 ページをご覧ください。

三つ目は、多様性社会の推進のための組織改正であり、多様性を包摂する地域社会づくりが求められていることを踏まえ、男女共同参画に加え、女性活躍の推進や、多文化共生等を推進するため、市民活動課の男女共同参画推進室を多様性社会推進室に改組いたします。

次に、私の台湾桃園市への訪問及びジョージア国テラヴィ市代表団の当市来訪についてであります。

記者会見資料4の1ページをご覧ください。

今般、台湾桃園市から、今月開催される「桃園ランタンフェスティバル」へご招待されたことから、2月25日から2月27日までの3日間、現地でのフェスティバル開幕式をはじめとする行事に参加して参ります。

台湾桃園市につきましては、牛久大仏を製造した会社が、同市にあることを契機として、交流を進めているところであり、今後、観光を中心として更なる交流を図ってまいります。

次のページをご覧ください。

ジョージア国テラヴィ市につきましては、これまで相互訪問を経て交流を深めてまいりましたが、昨年11月に新たなテラヴィ市長が就任されたことから、12月に新市長とのオンライン会談を行い、今般、3月31日から4月3日までの4日間の日程で当市へ訪問いただくこととなりました。この訪問において、両市の友好交流を推進する内容の姉妹都市協定を締結したと考えております。

私からの発表は以上です。